

「文化と知」の創造拠点へのPFI等の導入可能性に関するサウンディング調査 実施結果

令和7(2025)年1月

1 サウンディング実施スケジュール

- ・ 実施要領の公表 : 令和6(2024)年9月20日
- ・ 関心表明書の提出 : ~令和6(2024)年10月4日
- ・ 回答票の提出 : ~令和6(2024)年10月11日
- ・ 個別ヒアリング : 令和6(2024)年10月15日~18日

2 サウンディング参加企業

- ・ 全30社(建設・設計12社、運営9社、維持管理4社、金融3社、その他2社)
※主たる分野を記載。

3 個別ヒアリング実施方法

- ・ インフォメーションパッケージ・調査票を事前に配布の上、個別ヒアリングを実施

4 サウンディングで受領した意見

(1) 想定する役割、担当業務

- ・ 役割: 代表企業、構成員、協力企業、PFI事業者からの業務委託
- ・ 担当業務: 統括マネジメント、設計建設、運営、維持管理 等

(2) 参画条件

- ・ 昨今の事業環境を加味した適切な事業予算
- ・ 法改正等を踏まえた適切な工期・スケジュールの設定
- ・ 適切な官民の業務・リスク分担 等

(3) 想定する事業手法、事業期間

- ・ 事業手法: PFI(BTO)、DBO、従来手法
- ・ PFIやDBOでは、設計段階から建設、運営、維持管理企業の意見を取り入れることで、高品質かつ効率的な設計が可能である。
- ・ 複合施設を一体的に計画・運営・管理することが求められており、コンセプト実現には、異業種間で自由闊達な議論を行いやすいPFI手法が望ましい。
- ・ 従来手法では、各段階で予算が分かれているため、工事費の高騰による運営費や維持管理費への影響が限定的である。

- 事業期間：15 年、10～15 年、10 年
- 事業者が長期間にわたって管理運営を行うことで、民間事業者のノウハウが蓄積され、提供サービスの質が高まる。
- あまり長期間になると大規模修繕リスクが増えるため、15 年程度が望ましい。

(4) 業務範囲、業務分担

- 美術館、図書館、文書館それぞれの業務に関して、県が行うコア業務の範囲を具体的に設定してほしい。
- 県と民間事業者の間で、リスク分担や業務の明確化が必要である。
- 県と事業者の間で認識のすり合わせを行うため、県による情報共有や県と事業者との対話、事業者からの質疑への回答などを公募前に行ってほしい。
- コンソーシアム内での提案、事業費配分等の検討、事業開始後の物価変動等への対応のため、公募書類において施設整備費と運営維持管理費を分けて示してほしい。

(5) 民間収益事業の実現可能性、アイデア

- カフェ・レストラン事業について、独立採算だと事業が成立しない。出店者の負担が軽減される条件設定（備品の整備、使用料の減免等）を希望する。
- ミュージアムショップや物販など、民間事業者からの提案の余地を設けてほしい。

(6) 懸念事項等

- 建設費や人件費等が中長期的に高騰しているため、実態経済を加味した適正な費用を見込んでほしい。
- 実態に近い物価指数の採用や適切な起算日の設定など、市場環境の変化を適切に反映した公募条件の設定を希望する。
- 施設の性質上、集客面のハードルは高い。過度な集客力が要求される場合、参画が厳しくなる。